

新まち通信

～明日のために～

富士見高校生が地域を元気にするぞ！

「さる・柿合戦プロジェクト」が甲州丸の販売と干し柿づくりを行いました。

富士見高校園芸科の生徒8人と下蔦木集落住民、行政が協働して有害鳥獣対策に取り組む「さる・柿合戦プロジェクト」では、10月25・27日に収穫した干し柿用甲州丸を10月30日に道の駅「信州蔦木宿」で販売しました。会場には9時前から長蛇の列ができ、販売開始から5分足らずで用意した50箱は完売してしまいました。

プロジェクトは引続き11月1日(火)に、集落で干し柿づくりの先生と呼ばれている坂本波さんの手ほどきで、柿のへた採り作業、皮むき作業、麻紐に吊るす作業を行いました。もぎたての柿は次から次へと干し柿に変身し、約1時間30分の作業で46連作ることができました。

当日は、進藤安夫さんが藁から「みご」という部分を取り出し、縄をなう昔ながらの干し柿づくりを上演してくださり、その巧みな手さばきに参加者から拍手が沸き起こっていました。

この柿は、来年の1月上旬まで富士見高校に干され、管理を生徒たちが行うことになりましたが、出来が良ければ道の駅「信州蔦木宿」で販売することも計画しています。プロジェクトでは、集落の方に案内人を務めていただき「下蔦木の歴史を学ぶ散策会」を今月開催する予定です。

※甲州丸は江戸時代に甲州街道沿いに広まったものと思われます。直径が6cm～7cmほどの球形の柿で、秋になると農家の軒先に赤く色づいた甲州丸が郷愁を誘います。

詳しくは、新しいまちづくり系のホームページ 新まち通信 <http://www.town.fujimi.nagano.jp> をご覧ください！

また、このコーナーに関する“ご意見ご感想”をお寄せください。

【お問い合わせ】総務課新しいまちづくり係

☎62-9328 (有)9328 e-mail: shinmachi@town.fujimi.nagano.jp



ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



雨宮 ほたか
埼玉県戸田市
(乙事出身)

戸田市へ転居
そして今…

私が故郷を後に上京し早くも四十数年の歳月が過ぎました。二年程前に戸田市へ転居しましたが、永年住み慣れた都内からの引越は、一抹の不安と寂しさがありましたが、新生活に思いを馳せ…そんな中での引越でした。

二十年前埼京線が開通し、戸田市は都内に隣接しているため現在も住宅、又マンションの建設が進み、急激に人口が増加しています。若さと活気のある市として家庭と地域、高齢者と子供達との関係がより一層大切となってきました。

又戸田市はボランティア活動が活発です。行政は福祉に力を入れ、老人ホーム・幼稚園が建設され、老人介護・

子育て、又防災等に一生懸命です。私も退職後五年間程ボランティアの経験があり、戸田市でも何かに携わりたいと思い、ボランティア養成学校に通い、介護・レクリエーション等技術と体験を積み、今は特別養護老人ホームでリハビリの介助・心身障害者の手助けをしております。最近託児も多くなりました。入所者とのコミュニケーションができ、喜ぶ姿と笑顔を見ると私の方が逆に元気づけられ、楽しく充実した日々を過しています。ボランティア活動をメインとしている私ですが、好きな散策・旅行・美術館と史跡めぐり・観劇・映画にと自分の趣味にも有効に時間を使い分けています。

これからは無理をせず自分の健康を考えながら、老体に鞭打ってボランティア活動に係っていかうと思えます。又それが私の幸せでもあると感じ、満足している今日この頃です。私の今…を拙い文章で綴りました。

最後になりましたが、富士見町の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。